



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月21日

上場会社名 総合メディカル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4775 URL <http://www.sogo-medical.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金納 健太郎 (TEL) 092 (713) 9181  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 橋本 浩一 配当支払開始予定日 —  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	16,345	1.8	339	69.4	373	71.1	207	157.4
22年3月期第1四半期	16,063	1.5	200	—	218	—	80	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	28	69	—	—
22年3月期第1四半期	10	80	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	35,476	15,866	15,866	15,866	44.3	2,171	00	
22年3月期	36,273	15,932	15,932	15,932	43.3	2,170	05	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 15,721百万円 22年3月期 15,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	25	00	—	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	30	00	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	35,702	7.7	1,273	61.3	1,253	55.7	680	65.0	93	90
通期	75,958	7.9	3,828	17.1	3,806	15.4	2,160	40.2	298	27

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 6「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	7,670,078株	22年3月期	7,670,078株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

23年3月期1Q	428,321株	22年3月期	428,321株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	7,241,757株	22年3月期1Q	7,472,966株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）5ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他の情報	6
(1) 重要な子会社の異動の概要	6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	10
(1) 販売実績（連結）	10
(2) 四半期情報	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	22年3月期 第1四半期	利益率	23年3月期 第1四半期	利益率	増減額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	16,063		16,345		281	1.8
医業支援	3,908		3,528		△379	△9.7
コンサルティング	287		327		39	13.8
レンタル	1,216		1,164		△51	△4.3
リース・割賦	1,981		1,781		△199	△10.1
その他	422		254		△167	△39.7
薬局	11,811		12,519		708	6.0
その他	344		297		△46	△13.6
営業利益	200	1.2	339	2.1	138	69.4
医業支援	△191	△4.7	△26	△0.7	164	—
薬局	534	4.5	521	4.2	△13	△2.5
その他	△50	△14.8	△29	△9.8	21	—
消去又は全社	(92)	—	(126)	—	△34	—
経常利益	218	1.4	373	2.3	155	71.1
四半期純利益	80	0.5	207	1.3	127	157.4

当第1四半期（平成22年4月1日から平成22年6月30日まで）の売上高は、薬局の新規出店やM&Aによる増収効果もあって、16,345百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面では、医業支援におけるコンサルティング（DtoDを含む）の売上増加や、レンタルとリース・割賦の原価率低減もあって、営業利益339百万円（同69.4%増）、経常利益373百万円（同71.1%増）、四半期純利益207百万円（同157.4%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績の概要は以下のとおりであります。

①医業支援

A. コンサルティング

DtoD（医業継承・医療連携・医師転職支援システム）につきましては、常勤医師の紹介件数が24件（前年同期比8件増）となるなど、非常勤・アルバイトを含めた医師の転職支援件数が前年同期比1.5倍となりました。また、医師の開業支援件数は17件（同6件増）となり、DtoDに関する売上は147百万円（同12.4%増）となりました。病医院経営のコンサルティング収入は、大型案件の検収もあって180百万円（同15.0%増）となりました。この結果、コンサルティングの売上高は327百万円（同13.8%増）となりました。

B. レンタル

レンタルにつきましては、地上デジタルテレビ放送への対応に向け、レンタル物件の入れ替えと定額レンタル契約の推進、新規案件の取り組みを行いました。しかし、当期に入ってレンタル用テレビの品薄状態が続いており、特に定額レンタル契約の進捗が計画を下回りました。この結果、レンタルの売上高は1,164百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

### C. リース・割賦

当第1四半期のリース・割賦契約高は、営業効率を重視し前期まで行っていたDリース（サプライヤーから医療機器等を仕入れて、リース会社へ売却する取引）の取り扱いを止めたため、1,851百万円（前年同期比6.1%減）となりました。この結果、リース・割賦の売上高は1,781百万円（同10.1%減）となりました。

### D. その他

医療施設的设计・施工に関する売上が前年同期比47.1%減少し、その他の売上高は254百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

以上の結果、医業支援の売上高は3,528百万円（前年同期比9.7%減）となりましたが、利益面では、コンサルティング（D to Dを含む）の売上増加と、レンタルとリース・割賦の原価率低減もあって、営業損失26百万円と前年同期に比べ164百万円改善しました。

## ②薬局

調剤薬局の出店につきましては、平成26年（2014年）3月期までに500店舗を目指し、出店を加速させ、当第1四半期には9店舗（前年同期比5店舗増）を出店しました。また、平成22年6月1日には、調剤薬局10店舗を運営する株式会社あおば調剤薬局の全株式を取得しました。一方で、3店舗を閉鎖しました。この結果、当第1四半期末の調剤薬局は303店となりました。

以上の結果、新規出店やM&Aによる増収効果もあって、売上高は12,519百万円（前年同期比6.0%増）となりましたが、薬局出店の推進費用（医業支援への社内取引）の負担増もあって、営業利益は521百万円（同2.5%減）となりました。

## ③その他

特定保健指導の受託サービスにつきましては、事業の選択と集中の観点から撤退することを決定したため売上が縮小し、その他の売上高は297百万円（前年同期比13.6%減）、営業損失は29百万円（前年同期の営業損失50百万円）となりました。

### （事業区分の方法の変更）

当第1四半期から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

これに伴い、従来、「コンサルティング関連事業」「薬局関連事業」「レンタル関連事業」「リース・割賦関連事業」「その他の事業」としていたものを、当第1四半期から、顧客別に「医業支援」「薬局」「その他」の3つを報告セグメントとしております。また、従来、「消去又は全社」の項目に含めていた配賦不能営業費用（総務、経理部門などの管理部門に係る費用）は、当第1四半期から、「医業支援」「薬局」「その他」の各セグメントへ配賦しております。

なお、前年同期比較に当たっては、前第1四半期分を変更後の区分と配賦方法に遡及して行っております。総務、経理部門などの管理部門に係る費用を各セグメントへ配賦する前の営業利益は、以下のとおりであります。

	22年3月期 第1四半期	利益率	23年3月期 第1四半期	利益率	増減額	増減率
営業利益	200	1.2	339	2.1	138	69.4
医業支援	△59	△1.4	92	2.4	151	—
薬局	946	8.0	897	7.2	△49	△5.2
その他	△42	△12.3	△21	△7.1	21	—
消去又は全社	(645)	—	(629)	—	15	—

(2) 連結財政状態に関する定性的情報  
資産、負債、純資産の状況に関する分析

(単位：百万円)

	22年3月期末	23年3月期 第1四半期末	前期末比
総資産	36,273	35,476	△797
うち、現金及び預金、譲渡性預金	4,963	4,606	△357
負債	20,340	19,609	△731
うち、有利子負債 (注) 1	5,160	5,457	297
純資産	15,932	15,866	△66
自己資本比率 (%)	43.3	44.3	1.0
D/Eレシオ (倍) (注) 2	0.3	0.3	0.0

(注) 1 有利子負債は貸借対照表に計上したリース債務、割賦未払金を含む。

2 D/Eレシオ(デット・エクイティ・レシオ)の算出方法：有利子負債÷自己資本

当第1四半期末における総資産は、前期末比797百万円減少の35,476百万円となりました。流動資産は、前期末比2,296百万円減少の21,191百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2,664百万円減少し、たな卸資産が575百万円増加したためであります。固定資産は、前期末比1,499百万円増加の14,285百万円となりました。この主な要因は、レンタル物件の新規設置や入れ替えなどで賃貸資産(レンタル資産)が506百万円増加したほか、(株)あおば調剤薬局の全株式を取得したことなどにより「のれん」が839百万円増加したためであります。

負債は、前期末比731百万円減少の19,609百万円となりました。流動負債は、前期末比937百万円減少の15,411百万円となりました。この主な要因は、法人税等の納付により未払法人税等が1,157百万円減少したためであります。固定負債は、前期末比206百万円増加の4,198百万円となりました。この主な要因は、賃貸資産(レンタル資産)を割賦購入したことにより割賦未払金が397百万円増加し、借入れの約定返済により長期借入金が213百万円減少したためであります。なお、有利子負債は、前期末比297百万円増加し5,457百万円となりました。

純資産は、前期末比66百万円減少の15,866百万円となりました。この主な要因は、当四半期純利益207百万円の計上により増加しましたが、配当金の支払いにより181百万円減少したほか、少数株主持分が94百万円減少したためであります。この結果、自己資本比率は、前期末の43.3%から44.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年4月21日に発表した平成23年3月期の連結業績予想に変更はありません。

	22年3月期	23年3月期(予想)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	70,427	75,958	5,531	7.9
医業支援	19,995	21,255	1,260	6.3
コンサルティング	1,419	1,709	290	20.4
レンタル	6,608	7,651	1,043	15.8
リース・割賦	10,024	10,009	△15	△0.1
その他	1,941	1,885	△56	△2.9
薬局	48,983	53,550	4,567	9.3
その他	1,448	1,152	△296	△20.4
営業利益	3,268	3,828	560	17.1
経常利益	3,297	3,806	509	15.4
当期純利益	1,541	2,160	619	40.2
1株当たり当期純利益(円)	210.70	298.27	—	—

平成23年3月期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の売上高は、75,958百万円（前期比7.9%増）を見込んでおります。その内訳は、D to Dを推進させ医師の転職支援や医療モール・継承開業の支援などを拡大していくとともに、平成23年（2011年）7月からの地上デジタルテレビ放送開始に対応したレンタル契約推進などにより、医業支援の売上高として21,255百万円（前期比6.3%増）を見込んでおります。薬局につきましては、地域の皆さまに「価値ある薬局づくり」を推進し、平成26年3月期までに調剤薬局500店舗（平成22年6月末303店舗）を目指します。この結果、平成23年3月期の薬局の売上高は、前期から加速している出店による増収効果などで53,550百万円（前期比9.3%増）を見込んでおります。

以上の結果、利益面でも、営業利益は3,828百万円（前期比17.1%増）、経常利益は3,806百万円（前期比15.4%増）、当期純利益は2,160百万円（前期比40.2%増）を見込んでおります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 会計基準等の改正に伴う変更

##### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、15百万円減少しております。

#### ② ①以外の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,606	3,963
受取手形及び売掛金	8,598	11,263
割賦債権	1,094	1,046
リース投資資産	1,351	1,254
有価証券	100	1,100
たな卸資産	3,832	3,257
その他	1,619	1,615
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	21,191	23,487
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産	2,461	1,954
建物及び構築物(純額)	3,609	3,557
その他(純額)	3,208	3,210
有形固定資産合計	9,278	8,723
無形固定資産	1,835	974
投資その他の資産	3,171	3,087
固定資産合計	14,285	12,785
資産合計	35,476	36,273
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,574	10,775
短期借入金	260	260
1年内返済予定の長期借入金	955	990
リース債務	372	341
未払法人税等	41	1,198
その他	3,208	2,783
流動負債合計	15,411	16,349
固定負債		
長期借入金	1,576	1,790
リース債務	1,011	981
その他	1,610	1,220
固定負債合計	4,198	3,991
負債合計	19,609	20,340

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,513	3,513
資本剰余金	4,136	4,136
利益剰余金	9,011	8,984
自己株式	△989	△989
株主資本合計	15,672	15,645
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49	69
評価・換算差額等合計	49	69
新株予約権	144	122
少数株主持分	—	94
純資産合計	15,866	15,932
負債純資産合計	35,476	36,273

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	16,063	16,345
売上原価	13,913	14,049
売上総利益	2,149	2,295
販売費及び一般管理費	1,949	1,956
営業利益	200	339
営業外収益		
受取配当金	8	9
受取賃貸料	6	7
その他	11	45
営業外収益合計	27	62
営業外費用		
支払利息	7	12
その他	2	15
営業外費用合計	9	27
経常利益	218	373
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14
特別損失合計	—	14
税金等調整前四半期純利益	218	358
法人税、住民税及び事業税	100	54
法人税等調整額	48	109
法人税等合計	149	163
少数株主損益調整前四半期純利益	68	194
少数株主損失(△)	△12	△12
四半期純利益	80	207

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績 (連結)

区 分		22年3月期 第1四半期	23年3月期 第1四半期	増減額	増減率	
医業支援	コンサルティング	百万円	百万円	百万円	%	
		コンサルティング	156	180	23	15.0
		D t o D	130	147	16	12.4
		小計	287	327	39	13.8
	レンタル	商品売上	83	89	5	7.1
		レンタル	1,132	1,075	△57	△5.1
		小計	1,216	1,164	△51	△4.3
	リース・割賦	商品売上	1,683	1,450	△233	△13.9
		リース	230	246	15	6.8
		割賦販売	67	85	17	26.6
		小計	1,981	1,781	△199	△10.1
	その他	設計・施工	219	115	△103	△47.1
		病院内売店の経営	127	113	△14	△11.5
		その他	75	25	△49	△65.9
小計		422	254	△167	△39.7	
	計	3,908	3,528	△379	△9.7	
薬 局	調剤売上	薬剤に係る収入	8,768	9,117	349	4.0
		調剤技術に係る収入	2,853	3,193	339	11.9
		小計	11,621	12,310	688	5.9
	一般薬等売上	189	209	20	10.6	
	計	11,811	12,519	708	6.0	
そ の 他		344	297	△46	△13.6	
	合 計	16,063	16,345	281	1.8	

(注) 1 DtoDは、医師の転職や開業、医業継承、医療連携を支援するシステムであり、医師紹介、開業コンサルティング、医師求人広告等に関する売上を計上しております。

2 当社の商品売上取引は、当社がユーザーとの間でリース契約や定額レンタル契約した物件を他のリース会社に売却するものであります。当社は、ユーザーから債権の代行回収を行い、その回収額をリース会社へ支払います。当社にとっては、サプライヤーからの物件購入額とリース会社に対する物件売却額との差額が当社の利益となります。

3 当第1四半期から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

これに伴い、従来、「コンサルティング関連事業」「薬局関連事業」「レンタル関連事業」「リース・割賦関連事業」「その他の事業」としていたものを、当第1四半期から、顧客別に「医業支援」「薬局」「その他」の3つを報告セグメントとしております。

なお、前年同期比較にあたっては、前第1四半期分を変更後の区分に遡及して行っております。

(2) 四半期情報

22年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高 (百万円)	16,063	17,072	17,409	19,881
営業利益 (百万円)	200	589	845	1,633
経常利益 (百万円)	218	587	859	1,632
四半期純利益 (百万円)	80	332	547	580

23年3月期

	第1四半期
売上高 (百万円)	16,345
営業利益 (百万円)	339
経常利益 (百万円)	373
四半期純利益 (百万円)	207